

「働き方改革」推進で利用者サービスの向上を目指す

旭川や札幌などで通所介護（デイサービス）を中心に、シヨートステイやQOL向上センター、住宅型有料老人ホームなど24事業所（5月1日現在）を展開している「希望のつぼみグループ」。

「あきらめない介護をスローガンに、総勢400人のスタッフが、いつまでも住み慣れた地域、住み慣れた家で心豊かな日常生活が送れるよう日夜取り組んでいる。

同グループが数年前から積極的に進めている

のが「働き方改革」。昨年、本部内にIT・IR事業部を創設し、大手IT企業と共同でデータの収集を開始。介護のICT化を進めている。

「介護の仕事は、ケアプランの作成からメニュー指導、入浴、食事、排泄、レクリエーション、記録簿作成まで、さまざまな仕事があります。それらをいかに効率よくできるかを分析し、スタッフが本来の仕事に集中できる環境づくりを進めています」と語るのは青山央明社長。

介護職本来の主業務であるケアワークやソーシャルワークに集中することで、サービスの質を向上させるとともに、利用者目線のケアを実践していく。



引き続きではタブレットで情報を共有



言語聴覚士でもある青山央明社長

グループホーム

せーじゅ

札幌市西区山の手4条5丁目3-22
☎011-618-7112



札幌太田病院の東側に立地

住み慣れた地域での生活を支援

札幌太田病院（太田健介院長）の関連施設として2016年に開設された認知症対応型グループホーム

ーム「せーじゅ」。1階が認知症デイサービス（定員12人）と院内保育室、2階と3階がグループホームの複合施設となっている。「笑顔・らしさ」の理念のもと、認知症の入居者にとって過ごしやすい環境を提供。安心と満足を感じられる生活を支援している。定員は18人。ゆったりとした約7・5畳の居室には冷暖房や床暖房が完備され、窓からは三角山が眺望できる。

運営法人 医療法人耕仁会 札幌太田病院
札幌市西区山の手5条5丁目1-1 ☎011-644-5111
<http://www.sapporo-ohita.or.jp/>

住宅要配慮者の住居探し専門店



窓口で相談に応じている渡邊博行社長

「住まい相談所」は、60歳以上の高齢者や生活保護受給者、母子（父子）家庭などの住宅要配慮者を支援。主に住宅問題に関して

幅広く相談に応じている。「当社は札幌市内、近郊に常時約3000件の空き室情報を有しており、相談者の要望に合わせて良質な住まいを無料で提案しています」とは渡邊博行社長。2018年には北海道指定居住支援法人にも指定。物件の売却や不用品処分などもおこなっており、昨年からグループホーム事業も開始している。

運営会社 住まい相談所（ラポール）
札幌市東区北27条東2丁目2-15 ☎011-807-4657
<http://www.sien-sho-kai.com/>